

出席「自由」

森の里  
花の里  
湯の里  
そして  
私の心の里は

榮子

私の望んでいる風景（故郷）のよう。「の里」  
ってブームになつていたので、「里」を並べられ  
たのかな。最後の「里」は読み手にイマジネ  
ーションを起こさせるようで、いいなあ。  
実家（故郷）もなく、脳の検査などあつて不安  
になり自分の故郷は夫かな？と思った。

あ 忘れ雪  
逸話に  
託して  
秘めごとの  
願かける

よ志

逸話の意味がちよつとわからなかったけど、ロ  
マンティックで直感的に「あ、好きだ」と。  
「あ 忘れ雪」に惹かれた。秘め事の歌、だい  
好きなんです。  
春に雪が降つたら願い事すると叶うという逸  
話。先日の雪で・・・私ロマンチストなの（笑）

何事もなく  
一日を終えて  
床に入る  
「幸せ」と思う  
ほんのひととき

富垣 豊子  
（一席）

若い頃は何とも思わなかったが、今は些細なこ  
とでも幸せだと思えるっていいですね、  
「幸せ」を輝かせてくれて勇氣や希望が湧いて  
くる歌。私、起きたときに「あゝ生きてたんだ」  
と思うんです、幸せの瞬間ですね。  
主人と二人だけの生活で、不平不満もありません  
が、寝るときは「今日も何ごともなくて良かつ  
た」としみじみ思います。

るるる 崩れてゆく  
ひこうき雲のしっぽ  
ずーっと眺めていると  
春の陽の中  
いつしか心が空っぽ

ゆい 雅子

情景がよくわかる。ひこうき雲から目が離せな  
くていつまでも見ている、そんな余裕が好き。  
見慣れた光景の、のんびり感や空っぽな心の様  
子などどうも上手いわ。  
バスの中から見た光景。冬は長く寒く嫌だった  
けどこの時だけは心が明るくなった気がしたの

重ねゆく年  
思つにならぬことばかり  
心いやす すべもなく  
日々 祈るのみ  
祈るのみ

さくら

全く全く共感。四、五行のリフレインに厳しい  
世界（年齢）にはいつていく気持ちがよく表  
れているようです。こんな心境になることあり  
ますね。同じように祈ってます。  
どうしようもない時は、ただ祈るしかないよう  
な気がして・・・

かすかに  
春の  
つぶ声  
まだかたい  
蕾の口から

かや みちこ

春らしくつてとっても好き。「蕾の口から」が  
素敵！ 素直で好感のもてる歌。「口」があるこ  
とで注意深く観察力のある人だと。  
公園の桜の蕾が、茶色から薄いピンクに。出だ  
しを「あ、春」にしたかったけど・・・  
（このほうがいいよ、と言う声あり）

長い冬に  
別れ告げ  
未だか  
まだかと  
桜待つ

野 菊

「まだか 未だか」がとってもいい。待つ気持  
がよく伝わってきます。NHKのアナウンサ  
ーが開花予想は二七日と言っていたが、気にか  
かるどころですわ。  
哀しいことがたくさんあり、暗い冬だったので  
春には前向きにいこうかなあ」と。

鈴野 鳴道

(三席)

傷だらけのボロ  
でも  
愛を煮こんだ  
鍋だから  
捨てられない

「愛を煮込んだ」がとても好き。家庭を大事に  
されている人かなと。捨てられない気持ち、よ  
くわかるわ。鍋心 ととったが、この心  
一生持つていないといけないね。  
(そうなのかとみんな感心)  
いろんなことがあって、愛を煮込んだつもりや、  
空白の時も今に繋がっていて、丸ごと全部自分  
を愛せるようになったかな・・・と。

内山 慶子

還暦を  
半年過ぎて  
思つこと  
新しいこと  
何かやらねば

ほっとする言葉の流れで、控えめでさらっと詠  
まれてるのがいい。還暦はとうに過ぎ、やる  
ことも減らしてきて今は五行歌に。還暦の日は  
夫の命日だが、この歌に出会って希望が見えた  
気がします。  
還暦を迎え仕事も辞めて、何かしたいと思いな  
がら過ごしていたが新聞で五行歌を知り、これ  
も縁だと思った。

こころ

こちよい春風と  
甘い香りに  
誘われ  
雑草と  
たわむれる

たわむれる がストレス解消になり心地よさを  
感じる。土いじりだいい好き、共感です。  
穏やかでゆつたりとさせてくれる歌ですね。  
むしゃくしゃした時は草を抜くの、でも少しだ  
けね。多いと楽しめないもの。  
自分の気持ちとは逆の歌。遊ぶ感覚ならストレ  
ス解消になるかなあ。どうしたら草が生えな  
いのかしら・・・?

紫陽花

近頃気になる  
変な日本語  
つていうか  
気持わるい  
みたいな

この通りですわ。変な日本語「つていうか」「み  
たいな」を入れて詠んであり、アイディア、ユ  
ーモアがあつていいわ。歌は老いに対する抵抗  
や、人生訓が多いが社会風刺があつてもいいん  
じゃないかな。  
作者不在でした。

倉本美穂子

病院に帰る  
と いう言葉が  
ごく自然に  
出てしまう  
慣れの哀しさ

身につまされる思い。辛いので触れて欲しくな  
歌だけど逃げる事が出来なくて・・・  
一行目は言わせてはいけない言葉だけど、言わ  
せてしまつたいたたまれなさでしょうか・・・  
義兄の長い入院生活で、看病のためほとんどを  
病院で過ごした義姉から出た言葉。慣れが哀し  
かったです。

人はなにをもつて  
幸せというのか  
何を不幸せというのか  
私は不幸な女なのか  
教えて

中塚 育子

心と肉体の  
老い加減  
四分六ならば  
やっていけそう  
これからも

ゆうゆう

(二席)

こんな私じゃなかった  
と  
喚おほいても  
こんな私も  
私なのだ

藤本フミエ

(次点)

なごり雪で  
杉花粉も  
おくれそう  
心配ないよ  
宅配便で送るから

いくたあつむ

どこかで聞いたような気もするが、ちょっとした  
たことにも幸せを感じて詠まれたのか。  
深い意味があると・・・心のあり方の問題ね  
少しでも良い方に気持ちを切り替えられるとい  
いですね。自分も反省です。  
日記の中のつばやきです。三年間に肉親を相次  
いで亡くしたが、生きていればこそ幸せもある  
というものです。

頑張ることに疲れたが、自然に任せて生きれば  
いいのかなあ〜この歌でも楽になった気分  
二、三行がいいな〜自分に置き換えて、これ  
くらいで丁度いいのかなと思った。  
無理はしないでいいということよね。  
病気をしてからは、身体は仕方ないが心は前向  
きにやっていきたいと。

誰かのせいしてみたいような、それでいて悟  
り？もあつて可愛くて面白い、一番好きでした。  
丸ごと自分を見つめていて、素直で好感がもて  
る。同じような体験をして、共感したわ。  
主人が亡くなって物事が素直にとれないことが  
あり、自己嫌悪に陥るが、それも自分。  
徐々に脱出しなければと思います。

宅配便つて杉花粉のこと？ 故郷のものを送る  
とき花粉もついて送るってことかな〜？  
花粉の時期はずれてるけど、必ず来るというこ  
とではなあ〜い???

その宅配便、私お断りよ。返送してもらっちゃ  
おうと。  
これは悪友とのメールのやりとりです(笑)

# 歌のみ「自由」

保育器の中で  
小さな手足が懸命に動く  
生きててくれて  
生まれて来てくれて  
ありがとう!!

まゆ

旅で出会った  
山くず粉  
ふんわりと  
幼い頃の  
祖母思い出す

清月

凍てし朝  
よちよち歩きの  
老二人  
「用心なさいよ・・・」と  
大地の声

若井もとむ  
(二席)

五行歌が出てこない  
なぜだかわからないが  
出てこない  
心境だけの問題か  
よくわからない

早瀬 光司

裏山の  
椿  
ハサミでつんで  
心なごませ  
花器に活ける

野田 真弓

電車の  
ドアが  
開くたびに  
その街の  
春の風

原田 甘  
(一席)

列車は走る  
雪も走る  
止まれば やむ  
何と不思議な  
雪の心

柴 まさこ

この本を  
お返しに・・・  
笑顔で  
右の奥です  
合同庁舎にも変革

丸矢 信子

あの時の感動がよみがえった。「ありがとう」の  
気持ちがありありと伝わり、最高点です。  
主人が逝って二ヶ月目に孫が生まれ、命のリレ  
「なんだと思った。  
お雛さまの日に女の子が生まれた。帝王切開で  
仮死状態、「生きてね」と思わずにはいられな  
ったのです。

山くず粉って片栗粉のこと？ おばあちゃんを  
思い出しちゃった。

くず粉の「ふんわり」と思い出の「ふんわり」  
にかけてあるのかな？ 優しい感じがいいわ。

各行全部好きだけど、特に五行目が好き！  
しみじみとしたものが伝わります。自分の姿を  
見ているようです。(用心せんといけんあゝ)  
とても寒くて凍みた朝、爺さんと二人危なっか  
しげに散歩しました。

ホント、そうなんです。作ろうと思えば思っほ  
ど出来ないものです。同感です。

ふと、いいフレーズが浮かぶこともあるんだけ  
ど五行にならなくて・・・  
元気になつたらまた出席させてもらいます。

椿は鮮やかでシンプル、自分も渋い花器に生け  
ます。一輪は必ず挿しておきたい花。

一輪だけでも心が豊かになるような気がする花  
ですね。

初めて作った歌です、よろしく願います。

文句なしに好き！ 電車に乗ってなにげなく感  
じることを、素直に詠まれていて感心です。

駅に桜があつたりすると、「わあ、春が入って  
くる」って思ったりする。上手いわ。

情景が見えるようです。自分の心に置き換えて  
雪は列車が走ると走り、止まると止むように思  
うのよね。五行目がいいわ。 電車ではなく  
列車だから、なおいいのよね。

追いかけるように雪がついてくる。こんな光景  
見たことありません？

五行目、ちよつとわかりづらいけど斬新な感じ  
ですね。少し皮肉が込められているのかな？

笑顔がなんか可笑しかったのでしょうか。

仕事に必要な書類を返しに行ったとき、体験し  
たことです。

眠る子の  
可愛さ  
鼻息の  
かかる位置で  
今日は眠ろう

小原さなえ  
(同三席)

可愛くてたまらない様子がとてもよく伝わって  
きて最高点です。いたずらしても、眠ってしま  
うと可愛いもんね。あったかい歌ですね。  
「今夜は」と「今夜も」ではちょっと違ってく  
るね。  
息子が、風邪気味で大変〜

こんな雪の日に  
配達された  
一通  
ずっしりと  
重い

森 鈴  
(同三席)

山の上の一軒家に郵便が届いたって感じね。  
うちは坂の上にあるので郵便やさんも大変、感  
謝の気持ちがおんなじです。一通に重量の重さ  
と内容の重さがあるみたいね。  
出席したいのに、なかなか出席できなくて・

駆け出したい  
気持ちに  
降り積もる  
焦れつたい  
三月の雪

岡部亜矢子

「雪」にかかる思いを、いつきに詠ませてしま  
ういい歌ですね。寒の戻りが多くて、じれつた  
い気持ちがよく伝わってきます。  
ここ二、三日のお天気のように、こんな気持ちで  
した。

川辺りで思う  
どうして流れは  
止まらないの  
時も止まらない

田中カズエ

三、四行は自分に語りかけておられるのでしょ  
うね。自分の心と対話しているのがいいです。  
ルビは無い方がいいかとも思うけど、当て字で  
は読めませんものね。努力賞ですね。

ああ退去若返

タイムスリップ

七 瀬

「会長」と書かれた  
小さな  
一枚の紙が  
私のこの一年を  
劇的に変えてしまった

たった一枚の紙が日常を全く変えてしまったん  
ですね。一枚の紙＝赤紙と重ねてしまいました。  
自分も子ども会の会長をしたとき、家庭内がこ  
たごたして同じ心境になったことがあるわ。  
くじで当たってしまったって・・・心配です。

シュー〜ストン  
お尻で着地の  
少女が笑う  
つられてみんなも  
春のまん中

小泉 秀子

「春の真ん中」がいいわ！ 明るくて可愛くて  
楽しい歌ですね。春だ春だといわなくても、と  
つても春らしくって好きです。  
公園の滑り台で遊んでいる子の屈託のない笑顔  
春の日差しの中で、私も一瞬 少女でした。

年をとるのも  
万更わるくはない  
つらいことも  
我が宿命と  
容易に受け入れられる

道原紀代子

最近、思いはじめてだんだんと受け入れていけ  
るんだなあと安心の気持ちが湧いたようです。  
歳をとるって、そのことを受け入れる範囲も大  
きくなるのね。上手くあらわしてあるわ。  
自分の宿命は最後まで背負っていかねば・・・と